

トピックス **プラス**

4/27

**人形から伝わるメッセージを鑑賞**

市歴史博物館企画展「恩田とき子人形展～物語の主人公とふるさと」が同館で開催され、4月27日にはオープニングセレモニーが行われました。日本手工芸美術展で金賞を受賞した、「雪女」や「あしがら山」など23点を展示。多くの来館者が人形に込められたメッセージを感じ取りながら鑑賞していました。企画展は7月8日まで開催されています。



▲地元（迫）出身の恩田さんの作品を鑑賞する来館者

5/10

**工夫を凝らした創作山野草に魅了**

新緑の季節を迎え、市内各地で山野草の展示会が開かれました。迫町山野草愛好会は5月10、11日、迫町老人福祉センターを会場に開催。エンコウ草や山シャクヤクなど、約80種類、170点が展示されました。また、道の駅津山「もくもくランド」でも12、13日に五葉山草会による展示会が開かれ、会員手作りの作品に観光客が魅了されていました。



▲色とりどりの作品が並べられた山野草展示会（迫）

5/11

**病院経営改革に専門委員を設置**

市では、市立5病院の再編と経営改革に専門的な助言をもらうため、「病院経営改革専門委員」に医療コンサルタントの神原正雄さん（大阪府在住）を選任し、5月11日に辞令を交付しました。神原さんは現在、株式会社日本医業総研の顧問や医療法人ほのぼの会の理事などを務めています。任期は1年で、月5日程度の勤務を想定しています。



▲病院経営改革専門委員に選任された神原さん（右）

5/18

**心を一つにして力強いこぎを**

第16回河北レガッタ2000の開会式が5月18日、長沼ポート場で開催され、19、20日の両日に競技が行われました。開会式では、選手を代表して佐沼高3年の猪股圭太郎主将が「心を一つに最後までこぎ抜きたい」と宣誓。北海道や東京、静岡などの8都道府県から92クルー、約200人が出場し、白熱したレースを展開しました。



▲開会式で力強く宣誓した佐沼高主将の猪股君

**東和で岩沼中がファームステイ 農業体験と民泊でふれあい**

岩沼中2年生162人が5月17、18日の両日、市内36世帯の農家に民泊しながら農業体験をしました。東和町では15世帯が70人の生徒を受け入れ、入村式を終えた生徒たちは、さっそく各農家で水田や畑などの作業を行いました。参加した生徒は、農業初体験者が多く、戸惑いながらも農作業に取り組みました。田植えを初めて体験した武田智也くんは、「水が冷たく足が思うように動かなくて腰が痛くなりました。でも楽しかったし、とても勉強になりました」と話していました。



▲受入農家の指導を受けながら水田で田植えに挑戦する岩沼中生徒



▲地域に古くから伝わる民話を方言を使って語った伊藤さん

**迫で伊藤正子さんによる楽しい民話 方言を交えた地域の民話を**

民話の語り手、伊藤正子さんによる「楽しい民話（歴史博物館主催）」が5月16日、歴史博物館の旧亙理邸で開催されました。伊藤さんは、地域に伝わる民話の中から7つの話を、方言などを使って面白おかしく紹介。標準語にはない温かみを感じられる語り、会場は和やかなムードに包まれました。また、「やってはいけないこと」「生きる知恵」など、子どもたちへの戒めや教えが込められている話もあり、参加者からは「昔の人の暮らし方が分かり興味深かった。ほかの話も聞いてみたい」などの感想がありました。

**石越子育て支援センターで親子ピクス 親子で一緒にリフレッシュ**

子育てに追われているお母さんに、心身をリフレッシュしてもらおうと、親子ピクス（石越子育て支援センター主催）が5月17日、石越公民館で開催されました。町内の7組の親子16人が参加。講師に狩野恵さん（中田）を迎え、童謡の音楽に合わせて体を動かしました。子どもたちは、お母さんが体を動かすと、まねて動かしたり運動の補助をしたり、約1時間親子で楽しく気持ちの良い汗を流しました。参加者は「体を動かしていいリフレッシュになりました。次回もまた参加したい」と話していました。



▲お母さんたちの心身のリフレッシュを目的に開催された親子ピクス